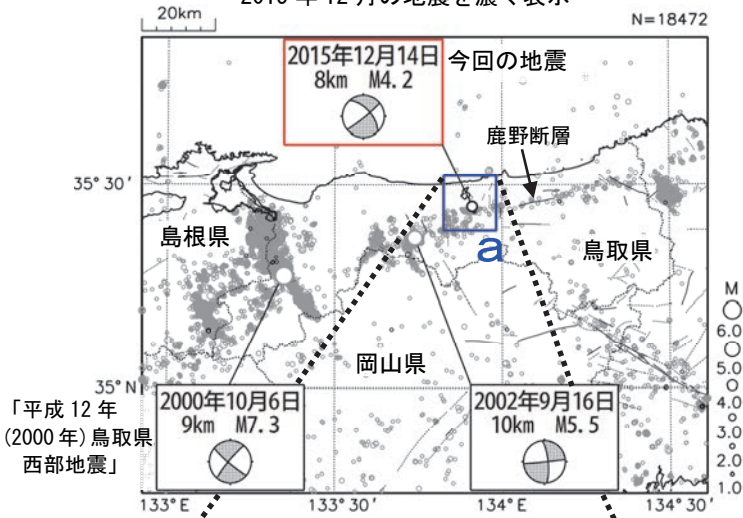


# 12 月 14 日 鳥取県中部の地震

震央分布図

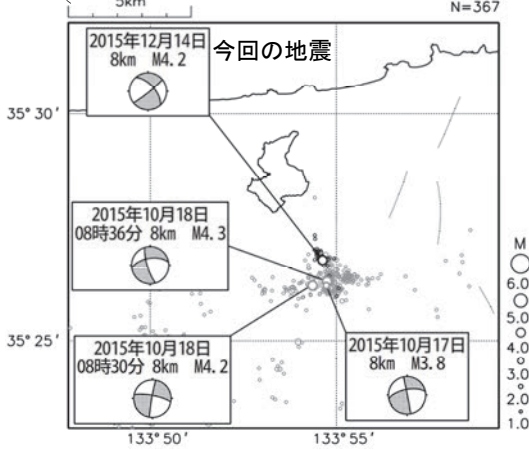
(2000 年 10 月 1 日～2015 年 12 月 31 日、  
深さ 0～20km、M≥1.0)  
2015 年 12 月の地震を濃く表示



2015 年 12 月 14 日 15 時 01 分に鳥取県中部の深さ 8 km で M4.2 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸をもつ横ずれ断層型である。今回の地震が発生した領域 (領域 a) では、2015 年 10 月 15 日からまとまった地震活動が見られ、12 月 31 日までに最大震度 1 以上を観測する地震が 32 回 (最大震度 4 : 4 回、最大震度 3 : 2 回、最大震度 2 : 7 回、最大震度 1 : 19 回) 発生している。

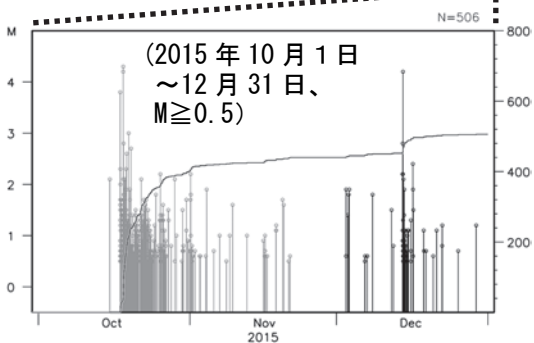
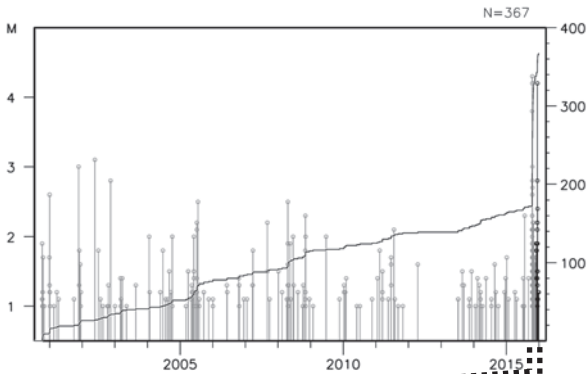
2000 年 10 月以降の活動を見ると、領域 a では、M2.0 以上の地震が年に数回程度発生している。今回の地震の震央から西南西に約 20km 離れたところで、2002 年 9 月 16 日に M5.5 の地震 (最大震度 4) が発生し、住家一部破損 8 棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の活動領域の周辺 (領域 b) では、1943 年 9 月 10 日に M7.2 の地震 (鳥取地震) が発生しており、死者 1,083 人、重軽傷者 3,259 人などの被害が生じた。また、今回の地震活動の数 km 南方で 1983 年 10 月 31 日に M6.2 の地震が発生し、負傷者 10 人、鉄筋コンクリート 3 階建建物の柱の剪断破壊などの被害が生じた (被害はいずれも「日本被害地震総覧」による)。



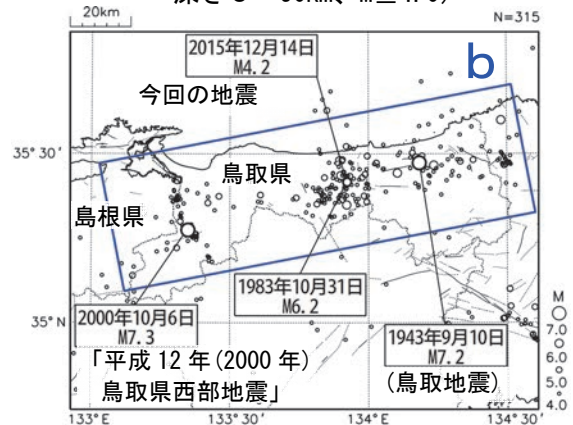
図中の細線は「新編日本の活断層」による活断層を示す

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日、  
深さ 0～50km、M≥4.0)



図中の細線は「新編日本の活断層」による活断層を示す

領域 b 内の M-T 図

